

令和3年度 北見工業技術センター運営協会事業計画

工業技術の研究開発及び技術向上を図るとともに、国・道の補助事業、委託事業及び支援施策等を積極的に取り入れながら地域産業の振興に寄与すべく、次の事業を推進する。

1. 技術指導及び各種相談

- ①当センターの機能を最大限生かし、職員一丸となり会員企業及び関係機関等と連携を深め、現場での技術指導・各種相談をより効果的に推進する。
また、企業訪問をはじめ電話や電子メール等を活用し、迅速な対応に努める。

2. 調査及び研究開発

- ①会員企業、関係業界等のニーズを把握するとともに、企業ニーズに適応した技術開発、商品開発に積極的に取り組む。
- ②道内、道外企業、研究機関等の先端技術の動向情報を積極的に収集し技術レベルの向上を図る。

3. 施設設備の利用開放

- ①会員企業等に商品開発や技術向上を目的として、当センター所有の機械機器及び研修室を開放する。

4. 依頼試験の実施

- ①当センター所有の試験機器を使い、コンクリート圧縮試験・鉄筋引張試験をはじめとする依頼試験に対応し、製品性能の向上と信頼される成績書の発行に努める。

5. 研修会及び講習会の開催

- ①会員企業、関係業界等の育成・事業推進等を主体とした研修会・セミナー等の支援・後援を行い、技術力、商品開発等の向上に努める。

6. 情報の収集及び提供

- ①企業訪問やインターネット等を利用することにより新製品や新技術情報・マーケティングに関する動向など実際の業務に直結する情報をいち早く把握し、会員企業等に必要な情報の提供に努める。
- ②相談内容等で公開できるものについては、ホームページ等に掲載し幅広い技術情報の提供に努める。

7. 展示会及び発表会等への参加

- ①新規性のある商品を試作開発し、関係する展示会等に積極的に参加し、販路開拓等の支援も行う。
- ②溶接技術競技大会など会員企業の主催する行事に積極的に協力する。

8. 各種補助事業・委託事業の取り組み

- ①地元企業の技術力と大学の技術シーズをもとに地域の活性化に繋がる事業化を目指し、北見工業大学に新設されたオホーツク農林水産工学連携研究推進センターや社会連携推進センターなどと連携し、共同研究等に取り組む。
- ②北海道や地元企業・関係団体との連携で、先端技術の導入支援等による地域企業の生産性向上事業に取り組む。
- ③北見市やふるさとテレワークで進出したIT企業、北見工業大学、関係団体との連携により、北見発のICT産業創出推進事業を推進する。

9. その他関連事業の取り組み等

- ①鉄工4団体の事務・管理業務を行う。
- ②地元の異業種交流の場に積極的に参加し情報交換を行う。
- ③当センターがこれまで蓄積してきた技術を生かし関係機関へ講師を派遣する。